

地図片手に寒風沢巡ろう

塩釜 東北福祉大の金教授と学生14人作製

東北福祉大総合福祉学部（非営利組織）とゼミ生が、塩釜市の浦戸諸島・寒風沢島を紹介する「寒風沢島おさんぽマップ」を作製した。昨年作った野々島のマップに続く第2弾で、島の見どころや歴史、おすすめの散策コースを盛り込んだ。協力した島民は「島を知ってくれる人が増えればいい」と期待を込めた。

マップはA4判4ページのフ

報もある。

ルカラー。トイレや自動販売機、フォトスポットなどが作製に関わった。書籍やをしるした島の地図とともに、見どころ22カ所を約2時間巡る散策コースを写真と解説付きで載せた。島の特徴や歴史、東日本大震災の被害状況のほか、島にある民宿や野々島と寒風沢島をつなぐ無料渡船の情

報もある。 仙台銀行の公益信託まちづくり基金の助成金を活用

無料渡船情報

撮影スポット

島の魅力たっぷり22カ所



マップを見ながら島について語る（左から）外川さん、金教授、島津さん、鈴木さん

し、約200部を発行。島民や協力者らに配布したほか、ウェブ版を市のホーム

ページで公開する予定。協力者で、島で民宿「外川屋」を営む外川晴信さん（78）は「島の魅力がまとまっている。いいマップだ」と太鼓判を押す。島の島津功

区長（84）は「立派なマップでありがたい。島の歴史や文化を知る人が増えればうれしい」と話し、依頼を受けて島のガイドを務める無職鈴木宏明さん（77）は「関係人口が増えて島が盛り上がり、いい」と期待を込めた。金教授と学生は島の活性化のため、2014年から小学生向けの自然体験学習などに取り組んできた。訪問自粛を余儀なくされたコロナ禍を経て、1人でも島を巡れるようにと野々島のマップを昨年初めて作製した。今後はマップを活用した島のノルディックウォーキング教室や大会の実施も検討している。金教授は「寒風沢島は自然が豊かで歴史ある島というだけでなく、島民の方々の人柄が最大の魅力。家族連れなどで気軽に散策してもらい、島を身近に感じることができればいい」と話した。